

**Partial English Translation of
JAPANESE UTILITY MODEL REGISTRATION
Laid Open Publication No. 56-132471A**

Claim for Utility Model Registration

- (1) An air-to-air heat exchanger characterized in that an adsorbent for adsorbing odor, vapor of carbon hydride and the like is provided at a member composing a heat transfer face of an air passage.
- (2) An air-to-air heat exchanger according to claim 1, wherein the surface of the heat transfer face is coated with the adsorbent.
- (3) An air-to-air heat exchanger according to claim 1, wherein the adsorbent is impregnated to the member composing the heat transfer face.
- (4) An air-to-air heat exchanger of claim 1, claim 2, or claim 3, wherein the adsorbent is in the form of grains or is activated carbon.

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭56—132471

⑤ Int. Cl.³

F 28 D 9/00

F 24 F 3/16

F 28 F 3/06

21/00

識別記号

庁内整理番号

7038—3L

6438—3L

7820—3L

7380—3L

⑬ 公開 昭和56年(1981)10月7日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 空気対空気の熱交換器

⑯ 実 願 昭55—30488

⑰ 出 願 昭55(1980)3月7日

⑱ 考 案 者 神田實志

中津川市駒場町1番3号三菱電

機株式会社中津川製作所内

⑲ 出 願 人 三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内2丁目2

番3号

⑳ 代 理 人 弁理士 葛野信一 外1名

㉑ 実用新案登録請求の範囲

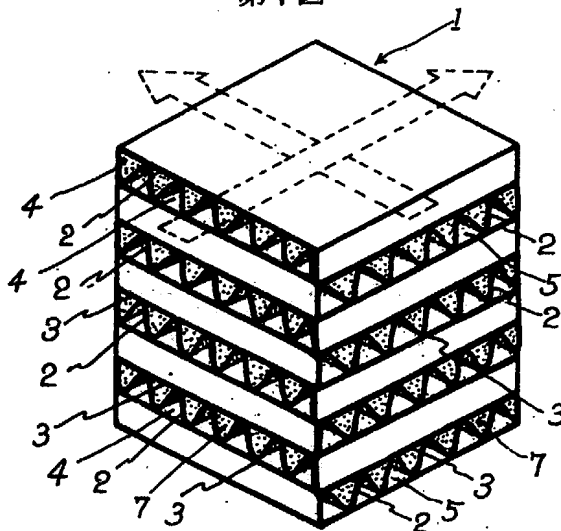
- (1) 空気通路の伝熱面を構成する部材に臭気や炭化水素の蒸気などを吸着する吸着剤を備え付けたことを特徴とする空気対空気の熱交換器。
- (2) 吸着剤が伝熱面の表面に塗布されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の空気対空気の熱交換器。
- (3) 伝熱面を構成する部材に吸着剤を含有させたことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の空気対空気の熱交換器。
- (4) 吸着剤が粒状又は活性炭であることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項又は第2項又は第3項記載の空気対空気の熱交換器。

図面の簡単な説明

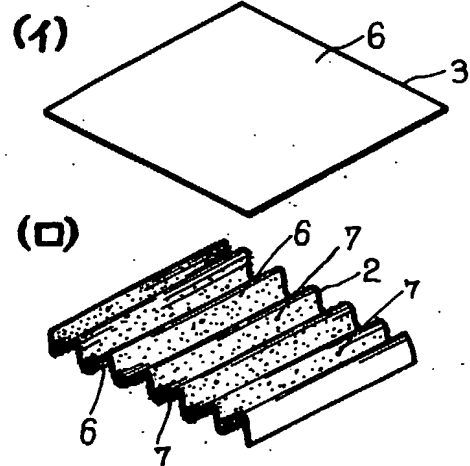
第1図は、本考案の適用例としての熱交換器のエレメントを示す斜視図、第2図イ及びロは第1図のエレメントにおける仕切板と間隔板とをそれぞれ示す斜視図、第3図と第4図は、本考案の他の態様を間隔板についてそれぞれ示す断面図、第5図および第6図は、本考案の他の態様を仕切板についてそれぞれ示す断面図である。なお、図中同一符号は同一又は相当部分を示す。

1……エレメント、2……間隔板、3……仕切板、4……排出空気通路、5……吸込空気通路、6……伝熱面、7……活性炭。

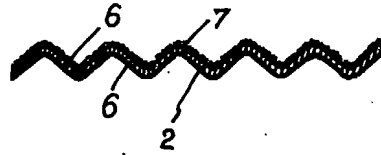
第1図



第2図



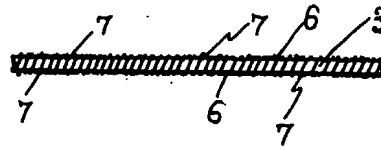
第3図



第4図



第5図



第6図

